

令和5年度須崎港・高知港合同テロ対策訓練実施計画

1 訓練目的

平成16年度に設置した須崎港・高知港の両港湾保安委員会が合同でテロ対策訓練を実施することにより、関係機関の連携及び対応を確認するとともに、国際港湾におけるテロ等の危害行為に対する事案対応能力の向上を図る。

また、訓練広報により、県民の国際テロリズムに対する危機意識向上を促す。

2 訓練実施日時

令和5年10月30日（月）午後2時頃から午後3時頃までの間

（中止は、午前7時30分を目処に訓練参加機関と調整の上、判断する）

3 訓練実施場所

高知県須崎市大峰地区大峰1万トン岸壁及び付近海域（別添1「訓練実施図」のとおり）

4 主催

須崎港保安委員会、高知港保安委員会

（事務局：高知県土木部港湾・海岸課）

5 参加機関

- (1) 須崎警察署（須崎港港湾危機管理担当官）
- (2) 高知海上保安部（高知港港湾危機管理担当官、須崎港港湾危機管理副担当官）
- (3) 高知南警察署（高知港港湾危機管理副担当官）
- (4) 高知東警察署（高知港港湾危機管理副担当官）
- (5) 神戸税関高知税関支署
- (6) 高松出入国在留管理局高知出張所
- (7) 四国運輸局高知運輸支局
- (8) 国土交通省四国地方整備局高知港湾・空港整備事務所
- (9) 高知県土木部港湾・海岸課

6 訓練想定

内閣官房「空港・港湾水際危機管理チーム」から「須崎港に入港予定の貨物船に某国で破壊活動を行ったテロリスト3名が乗船している模様」との情報が須崎港港湾危機管理担当官あて伝達された。

須崎港港湾危機管理担当官である須崎警察署長から須崎港港湾危機管理コアメンバーを非常参集行い、令和5年10月30日（月）、須崎港大峰地区大峰1万トン岸壁に着岸した貨物船に対して警戒態勢を実施していたところ、テロリスト2名（X・Y）のうちXが拳銃を取り出し周囲を威嚇し、ゲート方向に逃走開始、同時にYも刃物を取り出し周囲を威嚇し逃走を図る。

7 訓練項目及び訓練内容

(1) 情報伝達、非常参集訓練

内閣官房からの情報伝達を受け、須崎港港湾危機管理担当官から高知港・須崎港危機管理コアメンバーに対し情報伝達を行うとともに、事案対応のため非常参集を要請する。

(2) テロ対策実動訓練

ア 入港警戒監視（警察・税関・海保）

貨物船の須崎港岸壁への着岸にあわせて、上空、岸壁及び海上において警戒監視を実施する。

イ 入国審査及び手荷物検査（入管・税関）

岸壁上において、入国審査官による入国審査と税関による手荷物検査（所持品検査）を実施する。

ウ 岸壁上で逃走を図ったテロリストの制圧・確保（警察）

岸壁上の不審車両の確保及び同乗者を制圧する。

エ 貨物船内から逃走を図ったテロリストの制圧（警察・海保）

貨物船内の検索中に逃走を図ったテロリストを制圧する。

※ 実動訓練の詳細は、参加各機関がその詳細を定めて実施する。

(3) 訓練進行

別添2「訓練進行表」のとおり

8 訓練内容に関する問い合わせ先

(1) 須崎警察署 警備課 警備課長 濱口 泉

連絡先 0889-42-0110

(2) 高知海上保安部 警備救難課 警備救難課長 田中 秀人

連絡先 088-832-7111

訓練実施図



拡大図



訓練実施場所 ○
高知県須崎市大峰地区の須崎港大峰
一万トン岸壁及び付近海域

訓練進行表

10月30日(月)

時間	訓練日程	
0730	訓練実施の有無の決定(悪天候等の場合は中止)	訓練実施連絡 (FAX 又はメール)
0900	情報伝達訓練(コアメンバーに対する連絡)	情報伝達訓練 (FAX)
1330	訓練参加機関集合(指揮本部前)	
1400	訓練開始申告(須崎警察署警備課長)	
1400	テロ対策実働訓練 1 入港警戒監視 2 入国審査及び手荷物検査 3 陸上部の制圧・確保 4 船上部の制圧・確保	1 警察、税関、海保 2 入管、税関 3 警察 4 海保、警察
1440	訓練終了申告(須崎警察署警備課長)	
1445	訓練講評 須崎港港湾危機管理担当官 (須崎警察署長)	
1450	訓練終了(解散)	